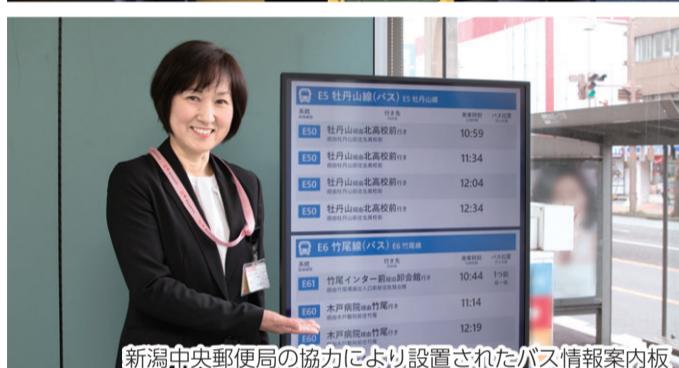


| 令和4年1月16日 | 第1・3週 日曜発行 |

*第2・4・5週の発行はありません。

2022
1/16
No.2759

編集・発行／新潟市広報課 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1 ☎025-226-2089
※掲載情報は1月5日時点のものです

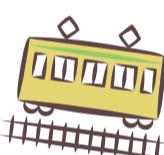


問
都市交通政策課(☎025・226・2753)

未来につなぐ 公共交通を



とうじょう歯科の協力により設置されたバス停のベンチ



公共交通について考えてみませんか



誰もが使える便利な移動手段

バスや電車、タクシーなどの公共交通機関は、子どもや高齢者、自家用車を持たない人などにとって、学校や病院に行ったり買い物に出掛けたりするために欠かせない移動手段です。

誰もが移動しやすい交通環境を確保するためにも、公共交通機関は大切です。

メリットがたくさん

公共交通機関の利用には、さまざまなメリットがあります。



交通渋滞解消への貢献



交通事故リスクの回避



二酸化炭素排出量の削減
※バスを使うと
自家用車の約2分の1



運動量の増加による
健康の向上

新潟市の現状

新型コロナウイルス感染症などの影響で、公共交通機関の利用者が減少しています。

例えば、令和2年度の路線バスの利用者数は前年度と比べ約500万人も減少しました=グラフ=。

路線バス利用者数



約500万人の減

公共交通を利用しよう

公共交通機関の利用者が減ると、収益の悪化から減便や路線の廃止、車両数の減少などによりサービスが低下し、さらに利用者が減るという悪循環に陥る恐れがあります。

一方で、超高齢社会では公共交通機関を必要とする人が増えると予想されます。

将来にわたり誰もが安心して暮らせるよう、私たち一人一人が公共交通の利用について考える必要があります。



2面ではバス交通を未来につなげるための取り組みを紹介します。

発熱などの症状があるときはかかりつけ医へ電話で相談 かかりつけ医がない場合は
新潟県新型コロナ受診・相談センター ☎ 025-256-8275

新潟市的人口・世帯数 (12月末住民基本台帳人口。括弧内は前月との比較) 人口／779,613人(-289)
男 375,444人(-148) 女 404,169人(-141) 世帯数／345,556(+26)

- 1・2 | 特集 | 公共交通を未来につなぐ
3 にいがたCITY NOW 新型コロナワクチン情報
4 議会定例会閉会、暮らしを支える給付金、火の用心、
コンビニ交付サービス、八区魅力発見!
5 連載 ほか
※他3ページは区役所だより「情報ひろば」は別冊で発行しています